

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	徳島県立海部病院			代表者名	浦岡 秀行
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	経営・情報担当	連絡先電話番号	0884-72-1166
担当者役職	主任	担当者氏名	矢野 翔太	連絡先E-mail	
住所	775-0006 徳島県牟岐町大字中村字杉谷266				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	海部・那賀ヘルスケア・モビリティプロジェクト
概要	医療MaaS車両の導入について、本県では初めての取り組みであるため、先進自治体である伊那市において導入に当たられた安江氏から、ノウハウをご指導いただきたい。		
支援を求める分野	医療・介護・健康 スマートシティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月18日	支援・助言(実地)	14時00分	17時30分	
				活動時間(分)	210
2-2.	会場名	徳島県立海部病院	最寄駅	牟岐駅	
派遣場所	所在地	徳島県海部郡牟岐町大字中村字杉谷266	最寄駅からの交通手段	送迎(当院公用車)	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	伊那市の事例について非常に具体的に解説してくれ、また、参加していた他病院・他地域の方からの質問にも答えていただき、大変勉強になった。その後、十月下旬の実証事業も好評に終わり、医療MaaSの導入に向けてはすみがついた。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、伊那市の事例についてご質問させていただく機会もあると思われしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	15人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	15			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	遠隔ですべてを完結させる「医療MaaS」は、現地に事務処理や薬剤の処方を行う人間がいらないため、こうした作業をどのように処理するのかという課題がある
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	MaaS車両の運用方法や、遠隔診療実施時の事務体制(薬剤の処方や会計など)、機器の構成や医療技術上の課題に加え、電子カルテなどの情報共有や、へき地における通信をどう確立するかなど、病院内での診療では生じなかったような問題があり、先進自治体である伊那市においてそうした問題や隘路をどのように解決してきたかについて、ご指導をいただきたい

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	参加予定の町及び医療機関を集めた場でご講演をいただいた。また、講演後に、当院の経営陣と意見交換の場を持っていただき、医療MaaSの開催に向けたさまざまな課題や疑問点について、伊那市の先行事例から知見を得ることができた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	遠隔診療に最適化された最新の医療機器や、クラウド型の電子カルテシステム、Starlinkの活用など、当院の抱えていた上記の問題を解決する様々なアイデアを頂くことができた。また、アジャイル型の開発思想について、各町や各医療機関の担当者、幹部職員の前でご講演をいただき、DXの実装に係る先行実装の重要性について意識啓発を行うことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 医療MaaS実証事業の成功につながった。実際に医療MaaS専用車両を運行し、地域の住民からアンケートで意見を聴取したところ、非常に好評であり、本格実装してほしいという多くの意見をいただいた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	令和7年度中に本格実装を予定しており、これに向けて、車両の具体的な設計・内装、運行のための制度づくりに着手する必要がある。特に、カメラと患者の距離によって、解像度が著しく低下したり、ピントが合いづらくなるという課題が生じている。伊那市と同様、車両調達をMONETから予定しており、実際に車両を運行している伊那市の事例から学べることは多いと思われるので、引き続き改善に向けてご支援をお願いしたいと思っている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 安江氏の講演については、関係行政機関の職員対象であったため、アンケートは実施していない。医療MaaS実証事業のアンケートについては別添の通り	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 医療MaaSの実証事業については実施済。実証結果を受け、来年度、医療MaaSの本格導入を行う。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	海部郡・那賀郡の4町と医療機関が連携して医療MaaS車両を運行し、医療資源の不足する地域に定期的に遠隔医療が提供できる体制を確立する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

